



# 21西尾

21世紀にける西尾市民会議 〈2021.9.1〉 No.146

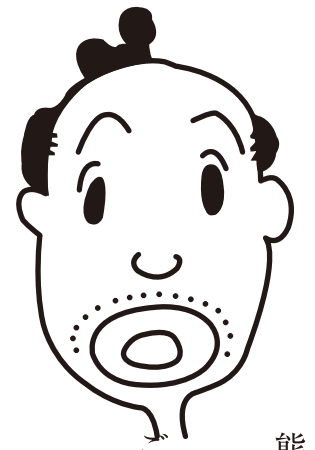


市長さん  
軸足は一般市民側に  
置いて下さいヨ!!

No.146

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

# のりこ & のりゆきの辛口議会だより



熊さん

熊さん

「調停申立の内容は、『SPCは、契約書に基づく要求水準の変更（市営住宅や温水プールなどの新設の取止め）を認める。市は、その変更によるSPCの損害は賠償する。』だろ？単純明快じゃないか。」

ご隠居

「だが、SPCは、大幅な『要求水準書の変更』は認められないと主張していた。」

熊さん

「それじゃ、話にならないじゃないか。」

ご隠居

「そこで、裁判所が、その点は一旦棚上げにして協議をしようかと提案し、その後、SPCが『市が望まない工事はやらない』と言ってきたので、市も、協議を続けることにしたそうだ。」

熊さん

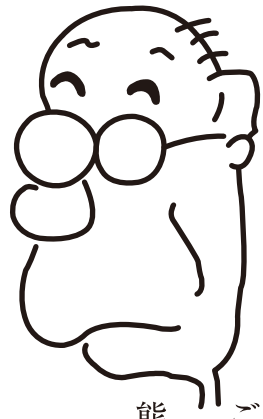
「おう、それから？」

ご隠居

「その後は、個別の問題を調停外で話をしたりしているうちに、時は過ぎ、昨年の12月になって、SPCが、要求水準変更による『損害額の算定は膨大な作業なので行いう意図はない』と言ってきた。『おいおい、ふざけんじゃねえよ!! 裁判所からも、『損害額』は、SPCの方から出すように指示されていたんじゃないのかよ。」

熊さん

「そうなんだが、SPCは知らん顔さ。」



熊さん

「それで、裁判所も、匙を投げたわけだ。SPCは『損害額』をどうして出さないんでい？」

ご隠居

「損害賠償は、事業取止めで減るSPCの儲け分しか請求できない（SPCが事業を遂行する費用は含まれない）ので、大した額にならないことに気がついた？からじゃないかな。」

熊さん

「市長も、もつと早く調停を打ち切つて、PFI契約書に基づいて、要求水準変更で押し通せば、増加費用はともかく、旧一色支所の仮囲いの撤去に8千万円も支払うことには、ならなかったんじゃないかねえか。」

ご隠居

「市長は、4年前の選挙直後に、公約の『PFI見直し』をやめると当時の議長に宣言してしまつた（?）、ことが尾を引いていたのか、この2年半一般市民側でなくSPC側に軸足を置いていたのか？SPCには、金を支払うばかりだった。」

熊さん

「SPCもあざといぜ。自分たちが儲けるためには、市民の気持ちも利益もそっちのけだ。『工事取止めも了解しない』なんて…。まだ10階建市営住宅や温水プールを造るといふのかよ？もう、市長はハッキリ契約解除を通告すべきだ!!」

ご隠居

「SPCは、損害賠償額が、200億円にもなると言つて市長を脅している（?）ようだが、2桁3桁違っているよ。」

熊さん

「市長は、ちゃんと弁護士に相談しているのかねえ。」

# 榊原前市長の契約締結は、極悪非道?!!

熊さん SPCCは、「PFI契約は、議会が承認しているのだから、変更はできない」の一点張りだね。しかし、その契約は、業者奇りの榊原前市長の指示で市民や議会の意見を排除して、『極秘』で作成され、西尾市(市民)側に不利なものだったんだ。

熊さん SPCCについては、好都合なことだね。そう、例えば、通常のPFI契約じゃあ、必ず明文で入っている市からの契約解除の条項が削られる点が一番ひどい。

熊さん それから？

〇隠居 PFI契約は、民間の資産・資金を使って事業を進める方式であるはずなのに、西尾市方式は寄せ集めのSPUI、資金力がなく、資金の殆どを金融機関から借りるのに、市が『保証人』になった挙句に、借入利息まで市が補填するという大盤振る舞いだ。これで「市直営より安くできる」筈がない。

熊さん その上、SPCCの会社を維持管理する『組成費』を毎年600万円も支払っているんだって？

〇隠居 それも、みんな市民の納めた税金だよ。

熊さん 榊原前市長は、今でもSPCC側から月数十万円の顧問料もらっているって噂も本当かと思えてくる。確かに5年前の議会で承認されたが、その時、賛成は15名だけ。11名も反対者がいたんだ。

熊さん 榊原前市長らが、当時の市民クラブや多くの議員に必死で頼み込んでも…だ!!

〇隠居 前市長と議長らが結託し、契約内容も直前まで秘密にして、複数の議員から契約の難点を指摘されると、東京の何の事情も知らない某弁護士に、「契約内容は、市に不利益はない」と言わせたが、11名の議員は、騙されなかったんだ。

熊さん それなのに、契約書も読まず、トリックも見破れずに賛成してしまった議員の責任は大きいよ。4年前の選挙で榊原前市長は落選したが、契約に賛成したSPCC奇り議員たちが残っていたので、中村市長もやりこへかった。だが、今度の選挙で、そんな議員が減った(まだ7人残っている)ので、思いっきり、見直しができるはずだ。

熊さん 5年前、議員だった中村市長も契約締結には反対したんだ。今回の選挙でも「民意」はハッキリしている。しっかりと踏ん張れよ!!

〇隠居 そんな非道い契約書でも、むすがる「政策の変更による中止、取止め」は認めていると聴かせ。中村市長!! 毅然としてろよお!!

# 訴訟乱立(?)で再配置が進んでない??

熊さん 今年6月の市長選の直前、某新聞に「市はつもの訴訟を抱えていて、トントンデモナイ」と書かれているがどうなんですか?!

〇隠居 うち4つはSPCCから市への「金貸いせ」を。

- ① SPCCの下請け(ウエスタン土地・丸洋建設)から「B&Gプールの解体工事を受注できなかった。工事費1200万円を払え」
- ② 増山元副市長から「B&Gプールの解体を市が他の業者にやらせたのはけしからん。その工事代金分を3200万円余を損害賠償として払え」
- ③ SPCCから「ぎり支所棟の買取りが遅くなっ自分の増加費用2050万円を払え」
- ④ SPCCから「旧一色支所棟の増加費用判決で、裁判所が認めなかった費用2640万円を支払え」というものだよ。

熊さん おつとオ、200億円もの公共事業を請負っている業者らが、次から次に施主である市を訴えるなんてあり得ねえ! どうかしてんじやねえか。それも、これも調停などで話し合いをしているのに、訴えてくるんだから、市長も甘くみられたものだ。あとの3つ、市民からののは?

〇隠居 見直し推進派市民からの「旧一色支所増加費用8200万円は根拠がなく払うべきでなかった」というものなどが、1つは、この8月に解決したし、市長が、ブレずに、今後も見直しを進めれば、解決する話だ。

熊さん 市民を欺いて、エセPFI契約をネタに「金を出せ!!」の大合唱をしてくる連中に忬度する必要なんか、どこにもないぜ。

# 公共施設再配置、結構進んでいますよ!!

熊さん 〇隠居さん、一部の新聞報道では「SPCCとの交渉停滞で、本来やるべき『公共施設の再配置』が進んでいない(?)」とつわねのけむ…。

〇隠居 そんなことはないよ。第一、西尾市方式PFIには、公共施設再配置にほど遠い事業(吉良中学校の改築、寺津小中学校への温水プール建設、一色支所跡への市営住宅建設などが含まれていたが、事業見直し、要求水準の変更で、PFIから外したし…。それ以外の改修・解体は進められている。おう、夏休み中も、寺津小・中校のトイレ改修とかをやっているよな。

〇隠居 一色町体育館もボロボロになっていたのを部分改修ではなく全面改修に近い形で工事中だ。

熊さん そうなんだあ。

〇隠居 もう、SPCCがPFIで提案した手法ではなく、市が、必要な改修を具体的に指示して設計し、工事費用も市が試算した上で取りかかっている。

熊さん SPCCの提案より、キチンと手を入れることで、施設全体の長寿命化を図るよう修正したんだね。こうしたやり方こそ、本来の「公共施設再配置計画」なんだよ。安易で中途半端な改修では、却って余計に費用がかかることになるからね。解体も、旧上横須賀郵便局は済んだし、老朽化した老人憩いの家のホール棟も来年完了だ。なんでえ、ずいぶん進んでいるじゃねえか。

※「株エリアプラン西尾」は、市内の(株)豊和 岩崎智一氏(代表)はじめ辻村工業(株)、(株)MICグループほか、市外2社で構成しています。